

令和7年度 第1回 運営推進会議開催状況報告書

事業所名	梨雲苑デイサービスセンター			
開催日時	令和7年9月16日(火) 13時30分～14時30分			
開催場所	特別養護老人ホーム 梨雲苑 研修室(富山市吉作1725番地)			
参加者	地域住民代表者	3名	知見者、民生委員等	2名
	利用者(家族)代表者	2名	事業所職員	5名
	行政職員	0名	その他(地域包括)	1名
議題	1. 事業所の現状について			
	2. その他			
会 議 録				
<第1号議案> 事業所の現状				
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者人数は例年通り。上半期で利用者数は増えてきているが、冬場は減少傾向にあるため利用者数を増やすよう努力する。 ・職員について1月2月に4名の入職・異動がありとても戦力になってきている。8月に中堅の職員2名の退職があり職務に偏りがある為、バランスを考え職員配置や業務分担を行う。 ・行事では、まいどはや32号33号参照。コロナ前には4保育所(東山・呉羽・老田・寒江)で1ヵ月に1回の交流会でふれあいを行っていた。今年度7月から保育所交流会(老田保育所のみ)再開した様子では、利用者様のいつも見られない笑顔や表情、温かい言葉がけを保育所交流会で見られた。他に、文化交流として保育所の作品を展示し今後も継続していく。東山保育所は月に1度ホームに来ている。 ・コロナ感染者について、8月から数人感染者がいるが換気・消毒・非接触検温などを継続して行っている為感染拡大には至っていない。今後、冬場の感染症に備え感染対策を継続する。 ・広報では新たに委員会紹介として口腔衛生委員会の紹介、「8020運動よい歯大賞」2名受賞された事、Facebook、Instagram、ラインの紹介。 				
ご意見やご質問				
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
<第2号議案> その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式にて介護と認知症について理解を深める。 				
みんなで学ぶ介護と認知症クイズ				
Q1.介護サービスを使うには介護認定が必要ですが、介護認定がつくまでの流れは『申請→□				

・ □→判定会議 → 結果通知』となりますが、□・□に入る言葉は何でしょう？
A.認定調査・主治医意見書、B.自動車免許・認定調査、C.アンケート調査・主治医意見書
正解：A
介護認定の流れでは、「認定調査（訪問調査）」と「主治医意見書」の2つが大きな柱になります。この2つの情報をもとに、介護認定審査会で要介護度が決定されます。
Q2.介護認定区分には要支援1～要介護5までありますが、2024年（令和6年）3月末時点の全国の介護認定者数の内、最も認定者数が多い認定区分は何でしょう？
A.要支援1、B.要介護1、C.要介護2
正解：B
高齢化が進む中で、軽度の要介護状態の方（要介護1）が最も多くなっています。
Q3.2024年（令和6年）3月末時点の全国の介護認定者数の内、最も割合の多い認定区分のパーセンテージは何%でしょう？
A.約20.7%、B.約25.7%、C.約33.7%
正解：A
全体の約1/5が要介護1。予防や早期対応の重要性がわかります。
Q4.2025年（令和7年）8月末時点の当センターの認知症対応型の実利用者数において、最も多い認定区分は何でしょう？
A.要介護1、B.要介護2、C.要介護3
正解：B
Q5. 認知症対応型通所介護が「地域密着型サービス」とされている理由は？
A. 利用できるのは原則、その市町村に住んでいる人に限られるから、B. 費用が地域によって違うから、C. サービスの質に地域差があるから
正解：A
「地域密着型」は、地域に根ざした支援を目的にしており、利用者も原則その市区町村の住民に限られています。市町村が指定・監督しています。
Q6. 認知症対応型通所介護の定員は？
A. 100人以下、B. 40人以下、C. 12人以下
正解：C
落ち着いた環境を提供し、一人ひとりに目が届きやすく丁寧に関わられるよう12名以下と決まっています。
Q7. 認知症の方が地域で安心して暮らすために、地域住民ができるサポートのひとつは？
A. 誰かが対応するだろうと思って通り過ぎる、B. 気づいても声はかけず、何もしない、C. 優しく声をかけたり、気づいたことを家族に伝える

正解：C
認知症に限らず私たちが地域で安心して暮らすには、周りの理解と見守りがカギとなります。
「ちょっと気になるな」と思ったときに、温かく声をかけたり、ご家族に伝えたりすること
が、地域の見守りにつながります。誰もが認知症になる可能性があるからこそ、「おたがい
さま」の心を持つことがその後にもつながるのではないのでしょうか。
認知症カフェについて包括支援センターに補足説明をお願いします。
・毎月第3日曜日に認知症カフェ、オレンジカフェを開催しています。月に1度、日曜日に
ゆうゆうデイサービスで開催している。音楽療法、手作りおかし作り、腰痛予防、お通じに
ついて等色々なことをテーマにしています。認知症の方だけでなく元気な高齢者の方も多く
25名ほど参加され、楽しい時間を過ごしておられます。どなたでも参加可能ですので興味の
ある方は開催パンフレットをお渡しします。
・防災について
・9/21（日）呉羽小学校で防災訓練、呉羽消防主催にて（心臓マッサージ、AEDの取り
扱いなど）が行われる。是非、参加していただければと思う。
→BCP（災害対策）について現状のままでは不十分と考えるので、地域を巻き込んでの訓練を
求められている。職員が地域の防災訓練に参加し、梨雲苑の防災訓練に地域の方が参加しても
らえればと思う。
・呉羽は津波よりも呉羽断層がある為、地震の被害が予想される。高齢者が被災した時の訓練
としてどのように助け出すか、地域の力で助け出す訓練をすべきである。